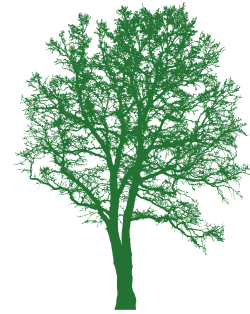
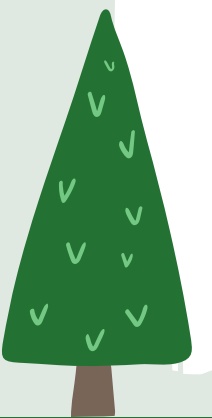
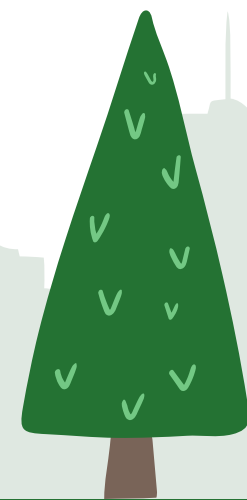
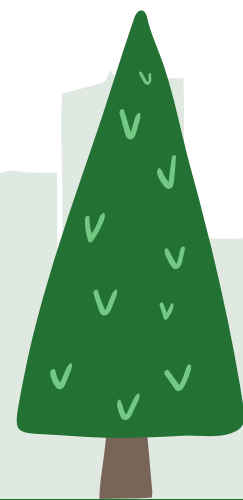
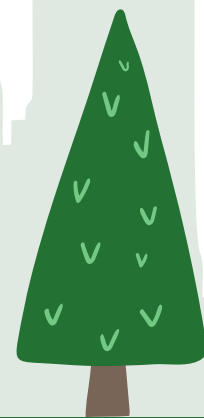
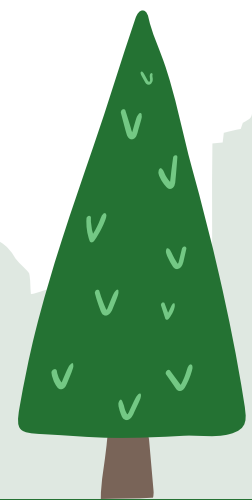


全国ワークシヨップ



# 女性分団長 & リーダー座談会 実施報告



01

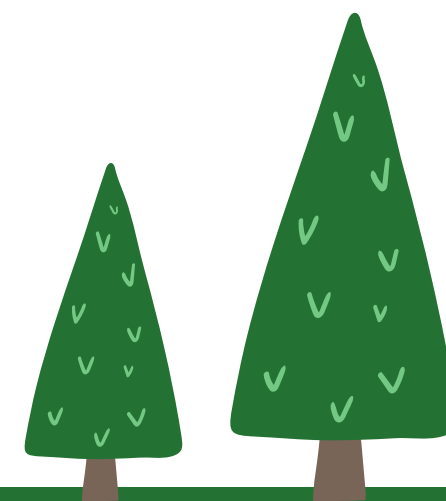
## 実施の経緯

# きっかけは昨年の 分団長会議



神奈川県相模原市で実施された令和4年度分団長会議

山崎直子さんが女性としてはじめて理事長になったということで、山崎さんを介して、今の女性の活躍や、これからの女性の有り方などを理解していく助けとしたい





03

## 座談会のようす

Zoom（オンライン会議システム）を使って実施



宇宙飛行士になりたいとおもったきっかけはなんでしたか？

学校教育以外に、社会教育などの場でどなたかとの出会いがありましたか？

進路に関して、誰かに反対されたことはありましたか？親身に応援してくれた人はいましたか？

これからのYAC団員に期待することや抱負は？

女性は宇宙飛行士に向いていますか？

保護者の皆さんへのメッセージはありますか？

## 宇宙飛行士になりたいと思ったきっかけはなんでしたか？

物心ついたときにやっぱり星を見るのが好きで、幼少期に北海道に住んでいたことがあって、星空はキレイでしたし、ちょうどその時、松本零士先生の宇宙戦艦ヤマトが放映されていて、それを兄と一緒に見ながら「宇宙って面白いな～」となっていました。ただ、私が小学生位のときには、まだ宇宙飛行士は日本人では誰もいなかったもので、その頃は、学校の先生になりたいとか、お花屋さんになりたいとか、そろそろできると言われていた東京ディズニーランドで働きたいとか、いろんなことを思って変遷していました。当時は宇宙飛行士というのは思いもつきませんでした。

それが中学生に入った時に、毛利さん、向井さん、土井さんが選ばれて、「日本人でもなれるんだなあ」というところで、その後、初めてテレビでスペースシャトルの打上げを見て、たまたまそれはチャレンジャー号の時で、事故になってしまったんですけども、逆に言えばSFとかアニメの世界だけではなくて、なんていうか・・・現実として失敗を乗り越えながら宇宙開発というものがあるんだなという事が、すごく心に残って、それから宇宙飛行士になりたいな、と思うようになったんですね。

## 女性は宇宙飛行士に向いていると思いますか？

宇宙飛行士のタスクは結構、マルチタスクと呼ばれていまして、ひとつのことだけに集中できるわけではなくて、この実験をやってこの実験をやって色々なことを気かけながら、5分間これやったら次は・・・と、それがたとえ最後までいかななくても次に移って、とすることを繰り返して行きます。女性の日頃の生活で自然とマルチタスクになれる方は多いんじゃないかなと思います。また、コミュニケーション力とか、まさに「伝える力」とかは、やっぱり女性の皆さんが日頃からされているので向いてる方が多いと思います。あと「幅広く気を配る」という分野はマルチタスクと一緒になので、女の人に向いてます。時間管理も非常にできる方多いと思うので、宇宙が嫌いじゃなかったら、もうぜひ皆さん挑戦して欲しいと思います。

座談会の様子は日本宇宙少年団のホームページ  
に今冬公開予定です